

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 2021年度

法人名	長野県高齢者生活協同組合	代表者	田中 夏子	法人・事業所の特徴	「ひとりぼっちにならないしない」をスローガンに、誰もが安心して暮らせる地域を作る協同組合です。みんなの家下條は、一人ひとりと手と心をつなぎ想いを大切にすする介護を目指しています。それぞれのできることやりたいことを中心に、その人らしい生活を送る為の支援を行います。
事業所名	みんなの家下條	管理者	熊谷千恵子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	2人	2人	1人	人	3人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 単なる結果としての評価では無く、その過程を大切に事業所運営につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事の奥が深く、たいへん価値のある仕事だと思った。 よく考えられており、取り組む様子もうかがえた。 より良い介護を実践したいという思いが伝わった。 	<ul style="list-style-type: none"> 本当の正しい評価は利用者や家族がするものではないか。 事項評価は必ずしも正しい評価とは限らない。見えないところの頑張りにも目を向けること。 毎日の努力に頭のさがる思い。引き続きよろしくお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価は進捗状況の把握と捉えることが大切であり、結果だけを見るには無く、その過程にある小さな積みかさねを大切にしていきたい。またより実践に即した計画策定と、専門職、社会人として成長することを意識していきたい。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 外回りの環境整備（清掃や花植え）を進め、介護事業所らしくない、開放感のある事業所づくりを進めます。 玄関先が幹線道路になるため、安全への注意喚起を行います。 新型コロナなどへの感染予防（消毒等）の徹底を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> いつも玄関先の花がキレイで、通るたびに目が行ってしまう。 感染対策など、工夫しながら取り組まれている 交通量の多い国道沿いであることが弱点。駐車場が隣接していないので入りにくいかも。 	<ul style="list-style-type: none"> 空間が広いのか否か分からないが、工夫しながら使われているのが分かる。何年たってもキレイなままである。 異臭がしないのは掃除や換気が行き届いているからだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護事業所では無く「家」を意識した事業所づくりを目指します。また、小さな図書館や歌の会（サロン活動）などを通じて、地域の誰もが気軽に立ち寄れる場所を目指します。 丁寧な環境整備の積みかさねを行い、利用者が安心して過ごせる空間づくりを行います。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域の幼稚園、小中学校など関係する機関との連携を行います。 小さな図書館や歌の会の企画を行うことで、気軽に立ち寄れる場づくりを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域にはボランティアを希望される方もいるので、これからも受け皿であってほしい。 コロナが終息したら事業所を使って学習会や趣味の教室などを企画してほしい。 小さな図書館は知らない人もいますので、もっと広報をして下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの花が目印になっている様で、知らない人はほとんどいないのではないか。 お祭りや行事でよく見かける。地域との関りを積極的に持とうとする姿勢が伝わる。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き地域で開催するイベントなどには積極的に参加を行い、地域の方との交流に努めます。 下條村民にとっての大切な社会資源となれる様、より多くの方にとって頂く取り組みを行います。 下條村短期宿泊制度、介護職員初任者研修、介護相談会などの定例開催などを行い、より多くの方へのお役立ちを目指します。

<p>D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や地域とのつながりを実感できる外出レクや行企画を積極的に行います。 ・地域の方やボランティアを招き入れることで、利用者自身が地域の一員であることを再認識して頂きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで多くの制約がある中でも、工夫しながら取り組みを行う様子が伝わる。 ・定例の運営推進会議での報告などを通じて、地域に向いている様子が把握できる。お花見、ソバ畑、村のイベントなど、利用者の楽しそうな様子が伝わります。 ・小規模ならではの柔軟的な関りが出来ていると思う、これからも、利用者一人一人にあったサービスを行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン活動（歌の会）への参加者宅にも訪問することがあると聞いて驚いた。 ・地域の方を巻き込んだ取り組みになると、よりサービスが充実すると思う。もっと声かけをするという。 ・事業所近隣の地域では無く、利用者にお宅を中心とした地域も考えることが大切なのではないかと考える。よく取り組まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出レクや地域のイベントなどを計画的に実施していきます。 ・新型コロナへの感染対策の徹底を行い、地域の方を招き入れることのできる企画を行います。 ・引き続き地域の諸団体との関係を深め、色々な場面での連携を目指します。さらに、これまでにお付き合いの無い方々との関係づくりも積極的に行います。
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一方通行の報告会議にならない様に、参加者から声が出せる会議運営を目指します。 ・色々な立ち位置の方に参加して頂くことで、介護事業所の固定観念から脱却した事業所運営を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能サービスは分かり難いため、具体的な事例紹介をして下さるのは参考になる。 ・色々な立場の人が集まる会議は意外と少ない。単に介護の話だけに終始しないのが良いと思う。 ・メンバーをもっと頼ってもいいと思う。言い換えればお客さんにしては駄目だと思う。遠慮なく誘ってほしい。 ・参加者が多岐に渡っているので、参加するたびに発見がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や資料を活用しながら報告されるので、雰囲気も伝わり、とても分かりやすい。 ・参加者皆さんから意見を聞こうとする姿勢が見られる。しっかりと活かしてほしい。 ・介護事業所が地域と連携することを大切にしていると知った。勉強になることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議進行の工夫を行いながら、参加者からの意見が出しやすい会議運営を目指します。 ・より多くの職員に参加する機会を設けることで、地域とのつながりを考えるきっかけとします。 ・参加者を固定するのではなく、いろいろな立ち位置の方が参加して頂ける様な働きかけを行います。
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法定（防災訓練・設備基準）に定められた項目を遵守することは元より、環境整備による避難通路の確保や利用者宅の状況（災害指定区域か否かなど）確認も行います。 ・災害時の食料（水・食料など）の棚卸を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防だけでなく、救急との連携（学習会など）も行うとよいのではないか。 ・下條村の防災ハザードマップが事務所に掲示されており、意識をされていることが伺えた。利用者さんのお宅の様子も分かりやすいのでたいへん良い。 ・スプリンクラーの設置や消火器も配置されており安心だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防火訓練は定期的に行われていることを確認できるが、その他の項目は判断が難しい。 ・夜間の人が少ないときに心配です。（色々考えられていると思いますが） ・東南海地震は切迫していると考えられる。日ごろの訓練を大切にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の消防訓練については、より場面設定を明確にした訓練を行うことで、実践で活かせる訓練としていきます。 ・消防との連携だけでなく、消防団との連携を図っていきます。 ・上半期を目途にBCP（事業継続計画）の作成を行います。

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	8		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	8		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	8		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	8		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・毎年確認させてもらっているが、真面目な取組みに感心します。
- ・小さな事業所だと思っていたが、多くの職員が関わっていることに驚いた。
- ・毎日の工夫されていることがよく理解できた。
- ・設問が抽象的で評価が難しい。よく頑張られていると思う。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・仕事の奥が深く、たいへん価値のある仕事だと思った。
- ・よく考えられており、取り組む様子もうかがえた。
- ・より良い介護を実践したいという思いが伝わった。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・具体的であり分かりやすい内容であった。
- ・人相手の仕事は評価が難しい。文章だけで伝えることはできない。
- ・深く考えられていることが分かった。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・本当の正しい評価は利用者や家族がするものではないか。
- ・事項評価は必ずしも事業所評価とは限らない。見えないところの頑張りにも目を向けてもらいたい。
- ・毎日の努力に頭のさがる思いです。これからもよろしくお願いします。

【改善計画】※後日記入

- ・評価は進捗状況の把握と捉えることが大切であり、結果だけを見るには無く、その過程にある小さな積みかさねを大切にしていきたい。また、より実践に即した計画策定と、専門職として、社会人として成長できることを意識していきたい。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	8		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	8		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	8		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	8		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・外観は修繕が必要では？と思う場所もあるが、概ね清掃が行き届いている。
- ・介護事業所独特の気になる臭いも無く、清潔が保たれている。
- ・いつ来ても整理整頓が来ている。

【前回の改善計画】

- ・外回りの環境整備（清掃や花植え）を進め、介護事業所らしくない、開放感のある事業所づくりを進めます。
- ・玄関先が幹線道路になるため、安全への注意喚起を行います。
- ・新型コロナなどへの感染予防（消毒等）の徹底を行います。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・いつも玄関先の花がキレイで、通るたびに目が行ってしまう。
- ・空間が広いのか否か分からないが、工夫しながら使われているのが分かる。何年たってもキレイなままである。
- ・異臭がしないのは掃除や換気が行き届いているからだと思う。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・介護事業所では無く「家」を意識した事業所づくりを目指します。また、小さな図書館や歌の会（サロン活動）などを通じて、地域の誰もが気軽に立ち寄れる場所を目指します。
- ・丁寧な環境整備の積みかさねを行い、利用者が安心して過ごせる空間づくりを行います。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8		
1	職員はあいさつできていますか？	8		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	7		1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	7		1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・外でお会いしても気持ちのよい挨拶をされている。
- ・多くの花が目印になっている様で、知らない人はほとんどいないのではないかと。
- ・交通量の多い国道沿いであることが弱点。駐車場が隣接していないので入りにくいのかも。
- ・お祭りや行事でよく見かける。地域との関りを積極的に持とうとする姿勢が伝わる。

【前回の改善計画】

- ・地域の幼稚園、小中学校など関係する機関との連携を行います。
- ・小さな図書館や歌の会の企画を行うことで、気軽に立ち寄れる場づくりを進めます。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・地域にはボランティアを希望される方もいるので、これからも受け皿であってほしい。
- ・コロナが終息したら事業所を使って学習会や趣味の教室などを企画してほしい。
- ・小さな図書館は知らない人も多いので、もっと広報することを進める。

【改善計画】※後日記入

- ・引き続き地域で開催されるイベントなどには積極的に参加を行い、地域の方との交流に努めます。
- ・下條村民にとっての大切な社会資源となれる様に、より多くの方に知って頂くための取り組みを行います。
- ・下條村短期宿泊制度、介護職員初任者研修、介護相談会などの定例開催などを行い、より多くの方へのお役立ちを目指します。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	8		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	2	1	5
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	8		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	6		2

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例の運営推進会議での報告などを通じて、地域に出向いている様子が把握できる。お花見、ソバ畑、村のイベントなど、利用者の楽しそうな様子が伝わります。 ・サロン活動（歌の会）への参加者宅にも訪問することがあると聞いて驚いた。 ・地域の方を巻き込んだ取り組みになると、よりサービスが充実すると思う。もっと声かけをすればいい。
<p>【前回の改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節や地域とのつながりを実感できる外出レクや行企画を積極的に行います。 ・地域の方やボランティアを招き入れることで、利用者自身が地域の一員であることを再認識して頂きます。
<p>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模ならではの柔軟的な関りが出来ていると思う、これからも、利用者一人一人にあったサービスを行ってほしい。 ・コロナで多くの制約がある中でも、工夫しながら取り組みを行う様子が伝わる。 ・事業所近隣の地域では無く、利用者にお宅を中心とした地域も考えることが大切なのではないかと考える。よく取り組まれている。
<p>【改善計画】※後日記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出レクや地域のイベントなどを計画的に実施していきます。 ・新型コロナへの感染対策の徹底を行うことで、地域の方を招き入れることのできる企画を実践します。 ・引き続き地域の諸団体との関係を深め、色々な場面での連携を目指します。さらに、これまでにお付き合いの無い方々との関係づくりも積極的に行います。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	8		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	1	1	6
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	8		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	8		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議のメンバーも多岐に渡っているため、参加するたびに発見がある。
- ・写真や資料を活用しながら報告されるので、雰囲気も伝わり、とても分かりやすい。
- ・参加者皆さんから意見を聞こうとする姿勢が見られる。しっかりと活かしてほしい。
- ・介護事業所が地域と連携することを大切にしていると知った。勉強になることが多い。

【前回の改善計画】

- ・一方通行の報告会議にならない様に、参加者から声が出せる会議運営を目指します。
- ・色々な立ち位置の方に参加して頂くことで、介護事業所の固定観念から脱却した事業所運営を目指します。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・小規模多機能サービスは分かり難いため、具体的な事例紹介をして下さるのは参考になる。
- ・色々な立場の人が集まる会議は意外と少ない。単に介護の話だけに終始しないのが良いと思う。
- ・運営推進会議のメンバーをもっと頼ってもいいと思う。言い換えればお客さんにしては駄目だと思う。遠慮なく誘ってほしい。

【改善計画】※後日記入

- ・会議進行工夫を行いながら、参加者からの意見が出しやすい会議運営を目指します。
- ・より多くの職員に参加する機会を設けることで、地域とのつながりを考えるきっかけとします。
- ・参加者を固定するのではなく、いろいろな立ち位置の方が参加して頂ける様な働きかけを行います。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？		6	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？		5	3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		7	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	6		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・防火訓練は定期的に行われていることを確認できるが、その他の項目は判断が難しい。
- ・スプリンクラーの設置や消火器も配置されているので安心だと思う。
- ・夜間の人が少ないときに心配です。（色々考えられていると思いますが）

【前回の改善計画】

- ・法定（防災訓練・設備基準）に定められた項目を遵守することは元より、環境整備による避難通路の確保や利用者宅の状況（災害指定区域か否かなど）確認も行います。
- ・災害時の食料（水・食料など）の棚卸を実施します。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・消防だけでなく、救急との連携（学習会など）も行うとよいのではないかと。
- ・下條村の防災ハザードマップが事務所に掲示されており、意識をされていることが伺えた。利用者さんのお宅の様子も分かりやすいのでたいへん良い。
- ・東南海地震は切迫していると考えます。日ごろの訓練を大切にしたい。

【改善計画】※後日記入

- ・年2回の消防訓練については、より場面設定を明確にし訓練を行うことで、実践で活かせる訓練としていきます。
- ・消防との連携だけでなく、消防団との連携を図っていきます。
- ・上半期を目途にBCP（事業継続計画）の作成を行います。